

大場よしひろ

県議会報告



No.18 大場よしひろ事務所 〒847-0023唐津市半田1854-6 TEL0955-70-6355 FAX70-6366



明日の子供達のために

六月定例議会 (一般質問)

問一 県民の安全・安心な

くらしの確保について

- ① 玄海原子力発電所の再稼働について
- ② 唐津赤十字病院の移転先について

問二 企業誘致活動の推進

について

- ① 新産業集積エリア唐津における企業誘致の見通しについて
- ② 地域の優位性を生かした積極的な企業誘致活動について

問三 国際化の推進について

- ① 海外拠点の整備について
- ② 外国人観光客の誘致促進について
- ③ 県産品の輸出促進について

問四 佐賀県農業の振興に

ついて

問五 学力向上対策について

六月定例議会 (総務常任委員会質問)

問一 地域防災力の向上に

ついて

- ① 自主防災組織について
- ② 組織化に向けたこれまでの取り組み状況について
- ③ 自主防災組織の活動状況について
- ④ 自主防災組織に対する県の支援について

防災訓練について

- ① 総合防災訓練における避難訓練について
- ② 原子力防災訓練について

問二 消防組織の体制強化

について

- ① 広域化の組み合わせの基

本的な考え方について

- ② 広域化対象消防本部の検討状況について
- ③ 広域化の実施時期について
- ④ 消防団との連携について
- ⑤ 今後の県の取り組みについて

問三 地域住民の安全確保

について

【組織犯罪対策課】

- ① 県内の暴力団情勢について
- ② 暴力団に対する警察の取り組み状況について
- ③ 新たな条例制定について

問四 「佐賀県総合計画

2011(仮称)について

- ① 「安全・安心」について
- ② 「安全・安心」の位置づけについて
- ③ 知事のマニフェストとの関係について

計画策定に係る今後の行

- ① 「素案」について
- ② 「素案」の内容について
- ③ 九月議会に提出される「最終案」について

平成23年度 佐賀県議会議員 大場よしひろ(主な役職)

県議会

- 有明玄海・環境対策特別委員会 委員長
- 総務常任委員会 委員
- 原子力安全対策等特別委員会 委員

議連関係

- 佐賀県国際交流推進議員連盟
- 佐賀県森林・林業活性化促進議員連盟
- 佐賀県北朝鮮拉致問題早期解決促進議員連盟
- 佐賀県難病対策推進議員連盟

自由民主党佐賀県連合会関係

- 自由民主党佐賀県連 副幹事長、会計監督
- 佐賀県農業・農村振興連盟 幹事長

- 佐賀県議会防衛議員連盟
- 佐賀県議会公営競技活性化推進議員連盟



6月定例議会

十一月
決算特別委員会質問



11月決算特別委員会

問一 農業関係の試験研究の推進について

- 試験研究費の決算額および研究員数の推移について
 - ① 試験研究費の推移について
 - ② 試験研究員数の推移について
- 試験研究の成果と普及状況について
- ① 試験研究の成果について



農業振興議員連盟

- ② 試験研究の成果の普及状況について
- いちご新品種の育成について
- ① 平成二十二年度における取組状況について
- ② 新品種の開発時期について
- ミカンの新品種の育成について
- ① 「佐賀果試6号」の特徴について
- ② 「佐賀果試6号」の位置づけについて

研究員の能力向上について

今後の試験研究の推進について

問二 さがの強い園芸農業確立対策事業について

- ① 平成二十二年度における実施状況について
 - ② 事業内容の拡充について
- 問三 新規就農者の確保・育成について
- ① 新規就農者の確保・育成に



総務部会勉強会

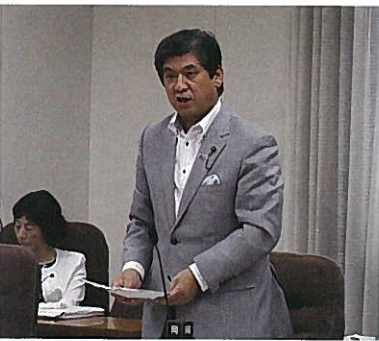
- ② 新規就農者数の推移について
- ③ 農業大学校学生の卒業後の進路について
- ④ 農業大学校における教育内容の充実について
- ⑤ 若い農業者の育成について

問四 有害鳥獣対策事業について

- ① 有害鳥獣対策事業の決算額について
- ② 平成二十二年度の事業内容について
- ③ イノシシによる被害金額の推移について
- ④ イノシシの被害防止に向けた取り組みについて

問五 雇用対策について

- ① 事業の実績について

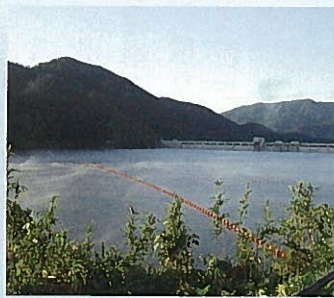


6月総務常任委員会

- ② 継続雇用の実績について
- ③ 雇用基金の有効活用について
- ④ 短期雇用基金の今後の活用について

委託訓練について

- ① 委託訓練の実施状況について
- ② 訓練の委託先について
- ③ 訓練受講者の就職状況について
- ④ 今後の取り組み方針について



嘉瀬川ダム視察



被災地視察・いわき市塩屋岬



被災地・いわき市・鳥居だけ



いわき市・被災地視察

十二月定例議会 (一般質問)

問一 TPP(環太平洋連携協定)と「佐賀県『食』と『農』の振興計画2011」について

問二 唐津港の整備について

問三 佐賀県教育の現状認識について

問四 職員が働きやすい環境づくりについて

問五 平成二十四年度当初予算の編成について



12月一般質問

最後に、平成二十四年度当初予算編成について伺いをいたします。ことしも十二月となりまして、残すところ後わずかと

ました。執行部においては、平成二十四年度当初予算編成に鋭意努力をされていると伺っております。

本年を振り返って見ますと、やっぱり何と云っても三月十一日に発生した東日本大震災でありまして。その東日本大震災以降、日本は大きく変わったのではないかと考えるところでございます。世の中全体が下を向いたまま、進むべき道を探してさまざまに思っているようなイメージでしょうか。また、原発や急激な円高、EUの債務危機に伴う日本経済の混乱を見ると、さらに思いを強くするところでございます。こういうときだからこそ、政治がぶれないでしっかりと道筋を示していく必要があると思えます。暗い話題の一年でありましたが、スポーツの分野では明るい話題を提供してくれたのではないかと思います。サッカーの女子

ワールドカップドイツ大会で、強豪チームを破って初優勝を成し遂げました。「なでしこジャパン」は、東日本大震災に見舞われ、元気が回復し、希望をもちました。また、国民栄誉賞のほか、今年の流行語大賞にも選ばれたところでございます。県内では、同じくサッカーでサガン鳥栖が悲願でありましたJ1昇格を決め、私自身も大きな感動と興奮を覚えたところでございます。また、私の地元唐津市でも若い力が活躍を見せました。唐津商業高校が夏の甲子園大会に出場し、惜しくも2回戦で敗れたものの、エース北方悠誠君がドラフト1位の指名を受け、いよいよ横浜DeNAベイスターズでの活躍が期待されております。同じく唐津商業高の金持君が、世界ろう者水泳選手権で背泳ぎの百メートルと二百メートルで優勝しました。

男子で2冠というのは日本発の快挙だということでございます。金持君は、健常者に比べてスタートの号砲への反応が遅れるというハンディをカバーするために、ものすごい量の泳ぎこみでスタミナをつけたことが今回の栄誉へ繋がったとされており、顔を上げるような話題も有りました。



さて、県におきましては、今年十月に「佐賀県総合計画2011」を策定され、今年度に行き移されたものもありますけれども、平成二十四年度当初予算は、総合計画策定後にお

る本格的な予算編成にないと考えています。この総合計画2011の策定に当たっては、県執行部でも検討に検討を重ねられ、県民の意見を反映し、議会での議論を踏まえるなど十分な審議を重ねられて策定されたものと認識いたしております。県政運営に当たっては、「今日より明日を必ず良くする。」という決意で策定したこの計画に基づき、将来の佐賀県を見据えて、信念を持って、また確実に取り組んでいただきたいと考えております。予算についても、県民に明るさや安心感を与えるために、上を向いて、胸を晴れるようなイメージで予算編成を行って欲しいと願っております。平成二十四年度の予算編成についてどのような姿勢で臨まれるのか、前向きな部分を含めて知事の御所見をお伺いしたいと思います。

平成二十三年十二月七日 一般質問 大場芳博議員に対する答弁



古川知事答弁

◎古川知事 登壇 II 大場芳博議員の御質問にお答えします。
私からは、平成二十四年度当初予算の編成についてお答えを申し上げます。

現時点におきましては、東日本大震災への対応を含め、国の予算編成や地方財政計画の内容が明確になっておりませんが、国、地方とも多額の借入金残高を抱えておりまし

て、今後も厳しい財政運営が続くことが予想されます。
また、最近の急激な円高や海外経済の減速などによりまして、景気の先行きに関して不透明感が増しております。税収の下振れも懸念されるところでございます。こうした中、来年度予算はさきに策定しました行財政運営計画二〇一一に基づきまして、中長期的に財政健全化を図り、将来にわたって持続可能な地域経営体を目指した予算とする必要がございます。一方で、議員からごさいましたように、県政運営の基本方針であります総合計画二〇一一策定後の初の予算となります。この計画では、「新しき世に佐賀あり。」を基本理念として、将来の佐賀県が新

しい時代のリーダーとして、国内外から必要とされる存在感のある県にしたいとの思いを掲げておりまして、来年度の予算編成に当たりましては、そのような佐賀県をつくるための政策を十分盛り込んだものにし、と考えております。具体的内容については、今後の予算編成過程の中で議論していくこととなりますが、例えば、企業ニーズに即した産業人材、グローバル人材の育成、確保や、中小企業の経営品質、技術力向上による競争力強化、農林水産物の流通拡大など地域の競争力を強化し、佐賀県を支えるもの。メガソーラーの設置や家庭用、事業用太陽光発電の普及など「太陽光王国『佐賀』」の実現を図るもの。佐賀空港へのLCCの就航、瀋陽、香港の海外事務所や上海デスクの設置などを背景とした成長著しい中国市場にお

ける輸出拡大や観光客誘致を図るもの。サガン鳥栖J1昇格によるスポーツ機運の盛り上がり、世界レベルの県スポーツ選手への支援や駅伝の強化など、夢、感動と活力を生むスポーツ振興を図るものなど、「安全・安心」を基本としながらも、「産業・雇用」、「環境・エネルギー」、「情報発信」、「国際化」など経済活性化や産業の振興につな



メガソーラー視察

がる施策や、これまで余り積極的には触れてこなかった「文化・スポーツ」の政策についてもしっかりと反映したものにしたいと考えております。限られた経営資源の中ではございますが、予算の重点的、効率的配分に努め、議員御指摘のとおり、将来の佐賀県を築いていくための予算編成に取り組み、真に県民の期待にこたえ得る予算となるよう努めてまいります。



九重・夢の吊り橋